2018 年 8 月 23 日

日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

（2018 年 7 月〔往航〕速報値）

（公財）日本海事センター 企画研究部

＊文中の%は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

Ⅰ.往航（アジア 18 ヶ国・地域→米国）の荷動き

（1）2018 年 7 月のアジア（18 ヶ国・地域）から米国へのコンテナ荷動き量は、前年比 2 ヶ月連続の増加となる 8.7%増の 156.9 万 TEU と過去最高を更新。また、1－7 月の累計では前年同期比 5.4%増の 983.6 万 TEU と過去最高を更新。

（2）国別では、過去最高を更新した中国（9.3%増）、ベトナム（12.9%増）、インド（19.3%増）に加え、日本（0.7%増）、韓国（7.8%増）、台湾（13.4%増）などの主要国は増加。地域別では、ASEAN（5.8%増）、南アジア（12.9%増）ともに過去最高を更新。

（3）品目別では、「家具及び家財道具」（寄与度 1.6%増）、「繊維及びその製品」（同 1.4%増）、「床材・ブラインド等のプラスティック製品」（同 0.8%増）、「テレビ、ビデオ等の映像・音響製品」（同 0.4%増）、「タイヤ及びチューブ」（同 0.3%増）、「建築用具及び関連品」（同 0.3%増）などが増加に寄与。

（4）日本は、3 ヶ月連続の増加となる 0.7%増の 5.7 万 TEU。品目別の 1 位（2017 年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「自動車部品」（11.9%減）が 6 ヶ月連続の減少となったものの、2 位の「車両機器及び部品」（13.2%増）が 3 ヶ月連続の増加、4 位の「建設機械」（32.5%増）が 9 ヶ月連続の増加。

（5）中国は、2 ヶ月連続の増加となる 9.3%増の 102.9 万 TEU と過去最高を更新。1 位の「家具及び家財道具」（9.6%増）、2 位の「繊維及びその製品」（14.3%増）、3 位の「一般電気機器」（5.6%増）及び 4 位の「床材・ブラインド等のプラスティック製品」（19.1%増）が 2 ヶ月連続の増加。香港は 4 ヶ月ぶりの増加となる 6.5%増の 2.7 万 TEU。

（6）韓国は、2 ヶ月ぶりの増加となる 7.8%増の 7.4 万 TEU。1 位の「自動車部品」（6.4%増）が 2 ヶ月連続の増加、2 位の「一般電気機器」（5.7%増）が 4 ヶ月ぶりの増加、3 位の「タイヤ及びチューブ」（6.7%増）が 5 ヶ月ぶりの増加。

（7）台湾は、2 ヶ月連続の増加となる 13.4%増の 5.8 万 TEU。1 位の「建築用具及び関連品」（21.4%増）及び 4 位の「床材、ブラインド等のプラスティック製品」（19.0%増）が 2 ヶ月連続の増加、2 位の「自動車部品」（6.2%増）が 3 ヶ月ぶりの増加、3 位の「家具及び家財道具」（9.4%増）が 6 ヶ月ぶりの増加。

（8）ASEAN は、マレーシア（2.9%減）、インドネシア（11.4%減）が減少となったものの、ベトナム（12.9%増）となったことなどにより、全体では 27 ヶ月連続の増加となる 5.8%増の 23.7 万 TEU と過去最高を更新。ベトナムは 28 ヶ月連続の増加となる 12.9%増の 10.7 万 TEU と過去最高を更新。1 位の「家具及び家財道具」（23.7%増）が 2 ヶ月連続の増加、2 位の「繊維及びその製品」（19.9%増）が 4 ヶ月連続の増加、3 位の「履物及び附属品」（21.6%増）が 13 ヶ月連続の増加。

（9）南アジアは、全体では 2 ヶ月ぶりの増加となる 12.9%増の 8.7 万 TEU と過去最高を更新。インドは 2 ヶ月ぶりの増加となる 19.3%増の 6.5 万 TEU と過去最高を更新。1 位の「繊維及びその製品」（18.8%増）が 3 ヶ月ぶりの増加、2 位の「家具及び家財道具」（22.4%増）が 2 ヶ月ぶりの増加、3 位の「鋼材及びその製品」（15.4%増）及び 4 位の「セメント、石、砂、粘土等」（17.6%増）が 2 ヶ月連続の増加。

表－1　2018 年 7 月：積国・地域別荷動き

	往　航				
国・地域	荷動量（TEU）	前年比（%）	シェア（%）	1－7 月の累計（TEU）	前年同期比（%）
18 ヶ国・地域　合計	**1,568,973**	**8.7**	**100.0**	**9,836,339**	**5.4**
日　本	**57,158**	**0.7**	**3.6**	**387,223**	**1.8**
韓　国	**73,572**	**7.8**	**4.7**	**477,084**	**4.4**
台　湾	**58,347**	**13.4**	**3.7**	**374,338**	**3.0**
中国＋香港　計	**1,056,317**	**9.3**	**67.3**	**6,512,791**	**5.3**
中　国	**1,028,833**	**9.3**	**65.6**	**6,348,085**	**5.5**
香　港	27,484	6.5	1.8	164,705	▲1.0
マカオ	18	▲19.7	0.0	145	▲11.7
ASEAN　計	**236,871**	**5.8**	**15.1**	**1,517,410**	**5.9**
シンガポール	8,896	15.6	0.6	58,110	11.0
フィリピン	10,507	5.4	0.7	72,059	▲1.0
マレーシア	24,456	▲2.9	1.6	166,988	2.4
インドネシア	26,845	▲11.4	1.7	214,523	▲0.8
タ　イ	50,958	2.3	3.2	317,264	6.7
ベトナム	**107,066**	**12.9**	**6.8**	**645,291**	**7.8**
カンボジア	7,375	31.9	0.5	39,124	34.9
ミャンマー	768	40.9	0.0	4,050	26.2
南アジア　計	**86,691**	**12.9**	**5.5**	**567,348**	**10.6**
スリランカ	4,273	▲0.1	0.3	27,820	7.8
バングラデシュ	8,752	2.3	0.6	59,313	6.6
パキスタン	8,751	▲7.9	0.6	60,439	2.0
インド	**64,914**	**19.3**	**4.1**	**419,775**	**12.7**

（注）集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEAN のうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの 8 ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの 4 ヶ国、合計 18 ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、後に若干の修正が加わる場合がある。

Ⅱ. 品目別荷動き

(1) 往航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している住宅関連 3 品目（「家具及び家財道具」、「建築用具及びその関連品」、「床材・ブラインド等のプラスティック製品」）の合計荷動き量は、2 ヶ月連続の増加となる 12.6%増の 35.0 万 TEU（シェア 22.3%）。

品目別でみると、「家具及び家財道具」は 2 ヶ月連続の増加となる 11.3%増の 23.3 万 TEU。「床材・ブラインド等のプラスティック製品」も 2 ヶ月連続の増加となる 18.1%増の 7.4 万 TEU と過去最高を更新。「建築用具及びその関連品」も 2 ヶ月連続の増加となる 10.6%増の 4.2 万 TEU。

(2)「繊維及びその製品」は 2 ヶ月連続の増加となる 11.9%増の 18.5 万 TEU。

(3)「一般電気機器」は 5 ヶ月ぶりの増加となる 3.2%増の 10.3 万 TEU、「テレビ・ビデオ等の映像・音響製品」は 2 ヶ月連続の増加となる 16.5%増の 4.3 万 TEU。

(4)「自動車部品」は 2 ヶ月連続の増加となる 0.1%増の 5.5 万 TEU、「タイヤ及びチューブ」も 2 ヶ月連続の増加となる 9.7%増の 4.4 万 TEU。

表－2 往航：2018 年 7 月の品目別荷動き（上位 10 品目）

品 目 名	荷動量（TEU）	前年比（%）	寄与度（%）	1－7 月前年同期比（%）	シェア（%）
1. 家具及び家財道具	233,126	11.3	1.6	4.0	14.9
2. 繊維及びその製品	184,877	11.9	1.4	4.4	11.8
3. 一般電気機器	102,633	3.2	0.2	1.2	6.5
4. 床材・ブラインド等のプラスティック製品	74,163	18.1	0.8	8.5	4.7
5. 自動車部品	54,676	0.1	0.0	▲0.2	3.5
6. おもちゃ	51,685	2.5	0.1	▲4.8	3.3
7. 履物及び附属品	49,840	7.3	0.2	6.0	3.2
8. タイヤ及びチューブ	44,384	9.7	0.3	7.1	2.8
9. テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	43,434	16.5	0.4	7.7	2.8
10. 建築用具及び関連品	42,235	10.6	0.3	3.8	2.7

（参考） 中国積の品目別の荷動き推移

順位	中分類品目名	2015年1-7月	2016年1-7月	伸び率(%)	2017年1-7月	伸び率(%)	2018年1-7月	伸び率(%)
	合計	5,507,129	5,612,407	1.9	6,016,061	7.2	6,348,085	5.5
1位	家具及び家財道具	876,468	927,346	5.8	1,064,192	14.8	1,086,744	2.1
2位	繊維及びその製品	532,526	526,105	▲ 1.2	545,684	3.7	573,834	5.2
3位	一般電気機器	470,101	470,848	0.2	489,688	4.0	505,726	3.3
4位	床材・ブラインド等のプラスティック製品	281,931	294,182	4.3	332,110	12.9	365,767	10.1
5位	おもちゃ	235,032	243,291	3.5	254,073	4.4	242,983	▲ 4.4
6位	建築用具及び関連品	173,783	176,972	1.8	189,903	7.3	195,320	2.9
7位	履物及び附属品	186,895	177,718	▲ 4.9	178,938	0.7	184,560	3.1
8位	テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	148,722	154,949	4.2	166,899	7.7	179,035	7.3
9位	照明機器及び部品	138,412	142,902	3.2	157,605	10.3	172,261	9.3
10位	車両機器及び部品	110,423	110,360	▲ 0.1	129,145	17.0	140,892	9.1
11位	ガラス及びその製品	103,206	115,081	11.5	125,801	9.3	135,380	7.6
12位	自動車部品	120,070	117,875	▲ 1.8	129,075	9.5	134,148	3.9
13位	木材及びその製品	130,000	123,107	▲ 5.3	108,734	▲ 11.7	131,360	20.8
14位	精密機器及び部品、クォーツ	106,695	109,178	2.3	122,819	12.5	127,530	3.8
15位	アルミ、銅等の非金属及びその製品	119,605	118,247	▲ 1.1	128,834	9.0	126,683	▲ 1.7
16位	家庭･台所用品	90,015	89,903	▲ 0.1	96,694	7.6	108,981	12.7
17位	紙、板紙類及びその製品	88,879	87,450	▲ 1.6	97,399	11.4	102,551	5.3
18位	コンピュータ及び半導体	113,190	116,888	3.3	93,171	▲ 20.3	95,255	2.2
19位	ワイヤ、ケーブル、鉛管等	79,578	81,695	2.7	86,582	6.0	93,587	8.1
20位	スポーツ、レジャー用品及び楽器	88,728	90,795	2.3	90,988	0.2	90,673	▲ 0.3
21位	自動車、トラック等のタイヤ及びチューブ	102,885	94,384	▲ 8.3	71,367	▲ 24.4	79,626	11.6
22位	鋼材及びその製品	76,924	79,332	3.1	81,828	3.1	79,020	▲ 3.4
23位	建設機械	41,797	55,015	31.6	60,432	9.8	67,410	11.5
24位	ハンドバック	65,012	61,091	▲ 6.0	63,019	3.2	63,757	1.2
25位	陶磁器	52,233	47,829	▲ 8.4	54,224	13.4	59,190	9.2
26位	自転車、ベビーカー及び部品	52,583	51,555	▲ 2.0	46,306	▲ 10.2	46,979	1.5
27位	セメント、石、砂、粘土等	32,955	33,670	2.2	34,986	3.9	41,195	17.7
28位	クリスマス用装飾品及び造花等	33,917	35,596	5.0	40,072	12.6	40,063	▲ 0.02
29位	タイル、セラミック、レンガ等の建築用資材	33,228	33,495	0.8	38,170	14.0	38,831	1.7
30位	一般機器及び部品	25,803	31,065	20.4	33,489	7.8	38,238	14.2
	その他	795,532	814,480	2.4	903,835	11.0	1,000,504	10.7

注：2018 年 1-7 月の荷動き量の順位

Ⅲ. 国別品目別荷動き動向

表－3　往航:2018 年 7 月の国別品目別荷動き（上位 5 品目）

	順位	品目名	TEU	前年比（%）	自国における シェア（%）	1－7月 前年同期比（%）
日本積	1位	自動車部品	12,816	▲11.9	22.4	▲6.0
	2位	車両機器及び部品	8,093	13.2	14.2	5.1
	3位	タイヤ及びチューブ	4,673	▲3.0	8.2	4.8
	4位	建設機械	4,493	32.5	7.9	17.3
	5位	テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	2,364	11.0	4.1	10.4

	順位	品目名	TEU	前年比（%）	自国における シェア（%）	1－7月 前年同期比（%）
中国積	1位	家具及び家財道具	161,580	9.6	15.7	2.1
	2位	繊維及びその製品	113,699	14.3	11.1	5.2
	3位	一般電気機器	74,368	5.6	7.2	3.3
	4位	床材・ブラインド等のプラスティック製品	60,561	19.1	5.9	10.1
	5位	おもちゃ	46,799	3.6	4.5	▲4.4

	順位	品目名	TEU	前年比（%）	自国における シェア（%）	1－7月 前年同期比（%）
韓国積	1位	自動車部品	10,319	6.4	14.0	▲5.0
	2位	一般電気機器	8,691	5.7	11.8	▲3.2
	3位	タイヤ及びチューブ	5,286	6.7	7.2	▲5.7
	4位	車両機器及び部品	4,953	19.2	6.7	15.9
	5位	レジン等の合成樹脂	3,194	5.4	4.3	▲3.5

	順位	品目名	TEU	前年比（%）	自国における シェア（%）	1－7月 前年同期比（%）
台湾積	1位	建築用具及び関連品	7,667	21.4	13.1	4.3
	2位	自動車部品	6,387	6.2	10.9	▲1.6
	3位	家具及び家財道具	4,336	9.4	7.4	▲7.3
	4位	床材・ブラインド等のプラスティック製品	4,175	19.0	7.2	2.2
	5位	タイヤ及びチューブ	2,157	1.4	3.7	▲4.8

	順位	品目名	TEU	前年比（%）	自国における シェア（%）	1－7月 前年同期比（%）
ベトナム積	1位	家具及び家財道具	43,929	23.7	41.0	10.8
	2位	繊維及びその製品	19,143	19.9	17.9	11.1
	3位	履物及び附属品	10,015	21.6	9.4	18.2
	4位	一般電気機器	2,874	▲32.7	2.7	▲37.0
	5位	コンピュータ及び半導体	2,642	▲10.9	2.5	▲13.2

	順位	品目名	TEU	前年比（%）	自国における シェア（%）	1－7月 前年同期比（%）
インド積	1位	繊維及びその製品	13,250	18.8	20.4	2.9
	2位	家具及び家財道具	3,571	22.4	5.5	14.8
	3位	鋼材及びその製品	2,969	15.4	4.6	21.0
	4位	セメント、石、砂、粘土等	3,273	17.6	5.0	5.1
	5位	文房具及び骨董品	2,494	16.4	3.8	8.1

注：2017年（確定値）における各国の順位による

Ⅳ. コンテナ運賃の動向

表－4　往航:コンテナ運賃の推移（2017 年／2018 年対比）

(1)EASTBOUND　　(Drewry:Container Freight Rate Insight)　　2018年8月14日

積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Shanghai	Los Angeles	2017年	20ft	1,830	1,820	1,320	1,350	1,380	1,150	1,190	1,500	1,400	1,240	1,260	1,120
(China)	(U.S.A)		40ft	2,300	2,270	1,650	1,660	1,690	1,460	1,520	1,910	1,790	1,600	1,620	1,420
		2018年	20ft	1,270	1,360	1,060	1,070	1,230	1,200	1,450					
			40ft	1,630	1,740	1,410	1,430	1,510	1,540	1,850					
		前年比	20ft	**-30.6%**	**-25.3%**	**-19.7%**	**-20.7%**	**-10.9%**	**4.3%**	**21.8%**					
			40ft	**-29.1%**	**-23.3%**	**-14.5%**	**-13.9%**	**-10.7%**	**5.5%**	**21.7%**					
Shanghai	New York	2017年	20ft	2,840	2,660	2,380	2,240	2,180	1,920	1,990	2,290	2,020	1,670	1,770	1,700
(China)	(U.S.A)		40ft	3,570	3,420	3,000	2,770	2,720	2,420	2,520	2,910	2,500	2,150	2,270	2,130
		2018年	20ft	2,300	2,350	1,860	1,870	2,030	2,000	2,350					
			40ft	2,910	3,090	2,420	2,400	2,510	2,530	3,010					
		前年比	20ft	**-19.0%**	**-11.7%**	**-21.8%**	**-16.5%**	**-6.9%**	**4.2%**	**18.1%**					
			40ft	**-18.5%**	**-9.6%**	**-19.3%**	**-13.4%**	**-7.7%**	**4.5%**	**19.4%**					
Yokohama	Los Angeles	2017年	20ft	1,710	1,650	1,610	1,570	1,600	1,580	1,510	1,760	1,600	1,530	1,530	1,470
(Japan)	(U.S.A)		40ft	2,090	2,010	1,960	1,910	1,920	1,930	1,840	2,150	1,950	1,870	1,870	1,800
		2018年	20ft	1,550	1,600	1,500	1,500	1,550	1,540	1,690					
			40ft	1,890	1,960	1,830	1,830	1,880	1,880	2,110					
		前年比	20ft	**-9.4%**	**-3.0%**	**-6.8%**	**-4.5%**	**-3.1%**	**-2.5%**	**11.9%**					
			40ft	**-9.6%**	**-2.5%**	**-6.6%**	**-4.2%**	**-2.1%**	**-2.6%**	**14.7%**					
Yokohama	New York	2017年	20ft	2,810	2,920	3,050	2,680	2,860	2,680	2,440	2,750	2,490	2,310	2,280	2,410
(Japan)	(U.S.A)		40ft	3,380	3,500	3,650	3,200	3,420	3,190	2,900	3,310	2,890	2,750	2,700	2,880
		2018年	20ft	2,780	2,750	2,540	2,560	2,400	2,420	2,570					
			40ft	3,380	3,300	3,060	3,200	2,900	2,920	3,140					
		前年比	20ft	**-1.1%**	**-5.8%**	**-16.7%**	**-4.5%**	**-16.1%**	**-9.7%**	**5.3%**					
			40ft	**0.0%**	**-5.7%**	**-16.2%**	**0.0%**	**-15.2%**	**-8.5%**	**8.3%**					

参考資料

表－7　米国内地域別（西岸／東岸／ガルフ）荷動きの構成比の推移

	往　航			復　航		
米国内地域 集計年（月）	西岸揚 （%）	東岸揚 （%）	ガルフ揚 （%）	西岸積 （%）	東岸積 （%）	ガルフ積 （%）
2016 年 1 月	65.8	31.4	2.7	56.9	38.9	4.2
2 月	64.1	33.0	2.9	59.8	35.9	4.3
3 月	60.9	36.2	2.9	60.3	35.4	4.4
4 月	65.6	31.5	2.9	60.7	35.4	4.0
5 月	65.8	31.6	2.6	58.7	37.3	4.0
6 月	64.9	31.9	3.2	58.9	36.6	4.5
7 月	64.0	32.6	3.4	61.2	34.4	4.4
8 月	63.8	32.9	3.3	60.1	35.5	4.4
9 月	64.0	32.5	3.5	60.3	35.1	4.6
10 月	63.6	32.6	3.8	60.9	34.5	4.5
11 月	65.2	31.2	3.6	60.4	35.0	4.5
12 月	64.7	31.8	3.5	58.8	35.6	5.6
2017 年 1 月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2 月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3 月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4 月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5 月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6 月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7 月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8 月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9 月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10 月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11 月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12 月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018 年 1 月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2 月	62.3	33.7	4.0	56.5	37.9	5.6
3 月	55.5	39.5	5.0	56.0	38.7	5.3
4 月	64.8	31.4	3.8	54.9	40.3	4.8
5 月	66.5	29.4	4.1	57.7	36.9	5.4
6 月	60.2	35.3	4.6			
7 月	61.7	34.1	4.2			

2018 年 10 月 25 日

日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

（2018 年 7 月〔復航〕速報値）

（公財）日本海事センター 企画研究部

＊文中の%は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

Ⅰ.復航（米国→アジア 18 ヶ国・地域）の荷動き

（1）2018 年 7 月の米国からアジア（18 ヶ国・地域）へのコンテナ荷動き量は、前年比 5 ヶ月連続の増加となる 4.5%増の 52.7 万 TEU。一方、1－7 月の累計では前年同期比 0.4%減となる 393.8 万 TEU。

（2）国別でみると、日本（8.8%減）、中国（28.5%減）などが減少となったものの、韓国（20.0%増）、台湾（64.0%増）、ベトナム（95.9%増）、インド（33.7%増）などが増加。地域別では、ASEAN（58.2%増）、南アジア（21.2%増）ともに増加。

1－7 月の累計を国・地域の荷動き動向をみると、日本（9.8%減）、中国（21.8%減）などが大幅な減少。韓国（7.9%増）、台湾（26.5%増）が増加、特にベトナム（65.8%増）、インド（38.1%増）などが大幅な増加に伴い、地域別でも ASEAN（32.7%増）、南アジア（29.2%増）が大幅に増加。

日本及び中国で「紙、板紙類及びその製品（古紙を含む）」、「動物用飼料」が減少している中で、「紙、板紙類及びその製品（古紙を含む）」は、韓国、台湾、ベトナム、インドなどで増加している。一方、「動物用飼料」はベトナムなどで増加。

（3）品目別では「レジン等の合成樹脂」（寄与度 1.7%増）、「採油用の種及び油脂」（同 1.3%増）、「野菜及び種苗類」（同 0.9%増）、「金属スクラップ」（同 0.7%増）、「家具及び家財道具」（同 0.5%増）、「動物用飼料」（同 0.3%増）などが増加に寄与。

（4）日本は 4 ヶ月連続の減少となる 8.8%減の 5.7 万 TEU。1 位（2017 年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「動物用飼料」（0.2%減）が 8 ヶ月連続の減少、2 位の「肉及びその調整品」（2.8%減）が 2 ヶ月ぶりの減少、3 位の「家具及び家財道具」（18.3%減）が 7 ヶ月連続の減少、5 位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（14.5%減）が 4 ヶ月連続の減少。

（5）最大の入荷国である中国は、16 ヶ月連続の減少となる 28.5%減の 15.2 万 TEU と 2009 年 2 月以来の 15 万 TEU 台となった。3 位の「家具及び家財道具」（27.1%増）が 3 ヶ月連続の増加となったものの、1 位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（59.3%減）が 10 ヶ月連続で 30%を超える減少、2 位の「木材及びその製品」（5.3%減）が 2 ヶ月ぶりの減少、4 位の「動物用飼料」（5.9%減）が 29 ヶ月連続の減少、5 位の「金属スクラップ」（67.9%減）が 7 ヶ月連続で 30%を超える減少。紙・板紙（古紙を含む）、金属スクラップなどが環境規制の影響などにより依然として減少基調が続いている。香港は 2 ヶ月連続の減少となる 6.8%減の 1.9 万 TEU。

（6）韓国は 3 ヶ月連続の増加となる 20.0%増の 5.7 万 TEU。1 位の「動物用飼料」（12.5%減）

が 3 ヶ月ぶりの減少となったものの、2 位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（37.9%増）が 6 ヶ月連続の増加、3 位の「肉及びその調整品」（64.8%増）が 6 ヶ月連続で 20%を超える増加。

（7）台湾は5ヶ月連続の増加となる64.0%増の5.2万TEU。2位の「採油用の種及び油脂」（109.9%増）が 8 ヶ月連続で大幅な増加、4 位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（387.0%増）が 4 ヶ月連続で大幅な増加、5 位の「穀物及びその調整品」（292.9%増）は 5 ヶ月連続で大幅な増加、9 位の「金属スクラップ」（1,397.4%増）は 2017 年に一時的に大幅に減少したものの、4 ヶ月連続で大幅な増加。

（8）ASEAN は、全体では 3 ヶ月連続で 30%を超える増加となる 58.2%増の 14.2 万 TEU。ベトナムは、8 ヶ月連続で 40%を超える増加となる 95.9%増の 3.5 万 TEU。1 位の「繊維及びその製品」（11.1%増）が 6 ヶ月連続で 10%を超える増加、3 位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（395.8%増）が 17 ヶ月連続で大幅な増加、4 位の「動物用飼料」（1,799.2%増）は 2017 年に一時的に大幅に減少したものの、8 ヶ月連続で大幅な増加。

（9）南アジアは、全体では 10 ヶ月連続の増加となる 21.2%増の 4.8 万 TEU。インドは 10 ヶ月連続の増加となる 33.7%増の 3.6 万 TEU。1 位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（85.5%増）が 10 ヶ月連続で 40%を超える増加。6 位の「レジン等の合成樹脂」（62.3%増）が 4 ヶ月連続の増加。

（10）7 月のインバランス（往航を 100 とした場合の復航の比率）は、前月比 5.3 ポイント悪化の 33.6%。インバランスを国・地域別に捉えると日本 100.2%、韓国 77.4%、台湾 88.8%、ASEAN 59.9%、南アジア 55.5%。インバランスに最も影響を与える中国＋香港は 16.2%。

表－1　2018 年 7 月：揚国・地域別荷動き

	復　航				
国 ・ 地 域	荷動量（TEU）	前年比（%）	シェア（%）	1－7 月の累計（TEU）	前年同期比（%）
18 ヶ国・地域　合計	**527,199**	**4.5**	**100.0**	**3,937,654**	**▲0.4**
日　本	**57,173**	**▲8.8**	**10.8**	**409,965**	**▲9.8**
韓　国	**57,028**	**20.0**	**10.8**	**399,958**	**7.9**
台　湾	**51,789**	**64.0**	**9.8**	**342,850**	**26.5**
中国＋香港　計	**171,676**	**▲26.5**	**32.6**	**1,437,229**	**▲21.5**
中　国	**152,199**	**▲28.5**	**28.9**	**1,306,393**	**▲21.8**
香　港	19,477	▲6.8	3.7	130,836	▲18.9
マカオ	4	▲94.9	0.0	171	▲46.5
ASEAN　計	**141,634**	**58.2**	**26.9**	**922,436**	**32.7**
シンガポール	20,357	105.6	3.9	115,464	54.4
フィリピン	9,734	6.0	1.8	70,572	▲0.4
マレーシア	19,969	102.4	3.8	111,417	50.1
インドネシア	36,252	48.4	6.9	217,492	19.9
タ　イ	17,475	21.8	3.3	135,686	11.4
ベトナム	**34,899**	**95.9**	**6.6**	**245,083**	**65.8**
カンボジア	1,784	▲36.2	0.3	14,447	▲17.0
ミャンマー	1,164	▲3.5	0.2	12,274	83.3
南アジア　計	**47,894**	**21.2**	**9.1**	**425,045**	**29.2**
スリランカ	1,846	▲17.0	0.4	14,054	20.0
バングラデシュ	2,165	▲31.0	0.4	25,919	3.5
パキスタン	7,783	9.1	1.5	78,578	11.7
インド	**36,101**	**33.7**	**6.8**	**306,494**	**38.1**

（注）集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEAN のうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの 8 ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの 4 ヶ国、合計 18 ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、翌月以降に若干の修正が加わる場合がある。

Ⅱ. 復航の品目別荷動き

（1）復航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」は 13 ヶ月連続の減少となる 15.7%減の 8.2 万 TEU。

（2）「木材及びその製品」は 2 ヶ月連続の増加となる 1.9%増の 4.7 万 TEU。

（3）「動物用飼料」は 7 ヶ月ぶりの増加となる 4.6%増の 4.0 万 TEU。

（4）「家具及び家財道具」は 3 ヶ月連続の増加となる 9.3%増の 2.7 万 TEU。

（5）「繊維及びその製品」は 5 ヶ月ぶりの減少となる 1.5%減の 2.5 万 TEU。

表ー2　復航:2018 年 7 月の品目別荷動き（上位 10 品目）

品　目　名	荷動量（TEU）	前年比（%）	寄与度（%）	1ー7 月前年同期比（%）	シェア（%）
1.　紙、板紙類及びその製品(古紙含む)	**81,530**	**▲15.7**	**▲3.0**	**▲17.0**	**15.5**
2.　木材及びその製品	**47,042**	**1.9**	**0.2**	**8.2**	**8.9**
3.　動物用飼料	**39,950**	**4.6**	**0.3**	**▲10.4**	**7.6**
4.　家具及び家財道具	**27,184**	**9.3**	**0.5**	**▲3.6**	**5.2**
5.　繊維及びその製品	**24,796**	**▲1.5**	**▲0.1**	**7.7**	**4.7**
6.　採油用の種及び油脂	**21,871**	**41.4**	**1.3**	**17.1**	**4.1**
7.　レジン等の合成樹脂	**20,782**	**70.4**	**1.7**	**4.3**	**3.9**
8.　肉及びその調整品	**18,362**	**2.8**	**0.1**	**▲3.8**	**3.5**
9.　金属スクラップ	**16,650**	**29.1**	**0.7**	**18.0**	**3.2**
10. 野菜及び種苗類	**15,451**	**43.5**	**0.9**	**11.4**	**2.9**

Ⅲ. コンテナ運賃の動向

(2)WESTBOUND (Drewry:Container Freight Rate Insight)

積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Los Angeles (U.S.A)	Shanghai (China)	2017年	20ft	600	600	640	650	670	640	620	640	630	630	640	660
			40ft	760	750	780	780	780	760	740	750	750	750	770	770
		2018年	20ft	640	640	630	620	660	690	750	640	640			
			40ft	770	770	740	740	800	830	840	750	760			
		前年比	20ft	6.7%	6.7%	-1.6%	-4.6%	-1.5%	**7.8%**	**21.0%**	**0.0%**	**1.6%**			
			40ft	1.3%	2.7%	-5.1%	-5.1%	2.6%	**9.2%**	**13.5%**	**0.0%**	**1.3%**			
New York (U.S.A)	Shanghai (China)	2017年	20ft	960	970	940	960	960	930	910	920	900	900	910	910
			40ft	1,180	1,200	1,170	1,180	1,160	1,120	1,090	1,110	1,080	1,080	1,090	1,090
		2018年	20ft	910	910	880	880	870	880	820	820	790			
			40ft	1,100	1,100	1,070	1,060	1,040	1,130	1,070	1,070	1,030			
		前年比	20ft	-5.2%	-6.2%	-6.4%	-8.3%	-9.4%	-5.4%	-9.9%	-10.9%	-12.2%			
			40ft	-6.8%	-8.3%	-8.5%	-10.2%	-10.3%	0.9%	-1.8%	-3.6%	-4.6%			
Los Angeles (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2017年	20ft	820	820	800	850	850	870	860	810	830	810	850	860
			40ft	1,050	1,050	1,020	1,090	1,090	1,100	1,090	1,040	1,040	1,020	1,060	1,060
		2018年	20ft	870	880	880	880	790	790	950	920	900			
			40ft	1,080	1,090	1,090	1,110	1,000	1,010	1,230	1,200	1,190			
		前年比	20ft	6.1%	7.3%	10.0%	3.5%	-7.1%	-9.2%	**10.5%**	**13.6%**	**8.4%**			
			40ft	2.9%	3.8%	6.9%	1.8%	-8.3%	-8.2%	**12.8%**	**15.4%**	**14.4%**			
New York (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2017年	20ft	1,150	1,210	1,160	1,240	1,240	1,250	1,240	1,150	1,150	1,140	1,190	1,200
			40ft	1,430	1,510	1,470	1,570	1,570	1,590	1,580	1,460	1,460	1,440	1,440	1,450
		2018年	20ft	1,250	1,250	1,260	1,250	1,220	1,220	1,370	1,350	1,370			
			40ft	1,480	1,480	1,490	1,620	1,500	1,490	1,760	1,780	1,790			
		前年比	20ft	8.7%	3.3%	8.6%	0.8%	-1.6%	-2.4%	**10.5%**	**17.4%**	**19.1%**			
			40ft	3.5%	-2.0%	1.4%	3.2%	-4.5%	-6.3%	**11.4%**	**21.9%**	**22.6%**			

Ⅳ. 米国内地域別（西岸／東岸／ガルフ）荷動きの構成比の推移

	往　航			復　航		
米国内地域 / 集計年（月）	西岸揚 (%)	東岸揚 (%)	ガルフ揚 (%)	西岸積 (%)	東岸積 (%)	ガルフ積 (%)
2017 年 1 月	**63.5**	**33.0**	**3.5**	**52.3**	**41.0**	**6.6**
2 月	**59.1**	**37.0**	**4.0**	**57.2**	**36.8**	**6.0**
3 月	**64.7**	**31.5**	**3.8**	**59.4**	**34.7**	**5.9**
4 月	**63.8**	**32.7**	**3.5**	**56.9**	**38.1**	**4.9**
5 月	**64.8**	**32.0**	**3.2**	**57.6**	**37.8**	**4.6**
6 月	**62.9**	**33.1**	**4.1**	**57.2**	**37.9**	**4.9**
7 月	**63.3**	**32.6**	**4.1**	**56.3**	**38.4**	**5.3**
8 月	**64.4**	**32.2**	**3.3**	**58.6**	**36.4**	**5.0**
9 月	**60.4**	**34.8**	**4.9**	**58.3**	**36.6**	**5.1**
10 月	**59.8**	**35.7**	**4.5**	**55.6**	**39.2**	**5.2**
11 月	**65.7**	**30.2**	**4.1**	**57.5**	**37.7**	**4.8**
12 月	**62.6**	**33.6**	**3.9**	**56.0**	**38.3**	**5.7**
2018 年 1 月	**62.7**	**33.5**	**3.8**	**56.0**	**38.9**	**5.1**
2 月	**62.3**	**33.7**	**4.0**	**56.5**	**37.9**	**5.6**
3 月	**55.5**	**39.5**	**5.0**	**56.0**	**38.7**	**5.3**
4 月	**64.8**	**31.4**	**3.8**	**54.9**	**40.3**	**4.8**
5 月	**66.5**	**29.4**	**4.1**	**57.7**	**36.9**	**5.4**
6 月	**60.2**	**35.3**	**4.6**	**56.6**	**37.6**	**5.8**
7 月	**61.7**	**34.1**	**4.2**	**56.4**	**38.1**	**5.5**